

風に恵まれ 合戦も最多

大高組 90年ぶり優勝

5日間にわたり熱戦が繰り広げられた新潟市南区の白根大風合戦が7日、閉幕した。連日好天と北風が続いたため大風が大空高く舞い、近年まれにみる多数の合戦が行われた。激戦を制したのは東軍の大高組。1920年以来90年ぶりの優勝を飾った。



力込め

「わっしょい！」と大きな声をそろえ、綱を引く住民たち＝7日

ことしは初日から最終日まで合戦に最適な北風は近年で最多とみていられる。大高組は4回戦を数え、終盤には風が足りず、徹夜して作った白地の風も多く上がるほどだった。これほど期間を通して、風日和が続いた年はない」と関係者が来場した累計33万7千人が伝統の合戦に酔いしれた。

大風で、勝ち点を競う



大空へ

勢いよく綱を引ぎ、空に浮き立つ大風＝7日

「優勝の部」で大高組、合戦回数を競う「技能の部」では弁慶組が1位となった。現在ある大風13組中、最も優勝から遠ざかっていた大高組が栄冠を勝ち取った。

同組の野沢賢哉代表



やった

念願の優勝に歓声を上げる大高組＝7日

そのほかの結果は次の通り。

【優勝の部】大風 ②校 ③日吉丸 ④善風 ①山崎 ヒューム管 ②一心会 ③サル ナート

【技能の部】大風 ②網 町 ③一心太助 ④善風 ①一心会 ②山崎 ヒューム管 ③サル ナート

37は「みんなが一生懸命走り、綱を引いてくれたおかげ、やっと神様が降りてきてくれた」と感無量の表情。90年前の優勝を知るメンバーはおらず、閉戦式では、誰も賞状のもらい方がわからない」と笑い声も漏れた。

同協会の佐藤弘会長は

「多くの観光客に伝統の技術、勇壮な合戦の素晴らしさを感じてもらえた」と話す。来年は同協会の発足100周年。また新たな歴史が刻まれる。